

令和5年度



YURIKAGO 通信

《春休み号》

R 6 . 3 . 1 8 東京ゆりかご幼稚園



いろいろな春

令和5年度終了に際し

惜別の春、園庭に響き渡る歌声。入園時の無邪気であどけない表情を遙か昔に感じるほど、自信と風格に満ちた年長の表情には毎年ながら感嘆いたします。立派に成長しました。

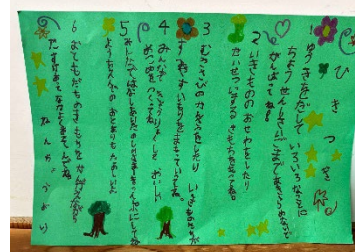
お別れ会では先輩として、園生活で大切にしてほしい事柄を手紙に記し、後輩に思いを託しました。実感のこもった手紙でした。ありのままの自然に囲まれたこの地で、寒さ暑さを共に分かち合いながら、支え合いながら、心豊かに逞しく育ちました。

先輩の背中を見て後輩は育ちます。この地に移転して10年。子ども同士の「育ち合う力」の大切さを改めて感じます。

明日の卒園式をもって令和5年度の全課程が修了します。今日の終業式では、これまでの大きな成長を自信に変え、進級、進学に向け、しっかり前を向いて歩いて行けるよう促してあげたいと思います。保護者の皆様には、子ども達の生活を、そして幼稚園をお支えいただきありがとうございました。

明日、令和5年度を振り返り「教育の質」に関するアンケートを、Yurinetで行わせていただきます。どうぞご協力をお願いいたします。令和6年度もさらに充実した教育内容になるよう、そして子ども達がより健やかに園生活をおくることができるよう、力を尽くしてまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

園長



お別れ会

全園児そろって園庭で一緒に踊ったり、ホールではレクリエーションを行ったり、年長さんがお別れの歌を披露、そして引き継ぎの手紙のお渡し。給食を一緒に食べて、テラスで花道を作ってお別れ。嬉しい、寂しい、思い出に残る素敵な1日を過ごしました。



年長 森遊び（コナラじいさん、夢の森）

年長さんは森の中で冒険あそびを楽しんでいます。園庭隣の「コナラじいさん」では、篠竹や木の枝をひもで結んで基地を作ったり、森深く入った「夢の森」では、藤のつるが四方に這う原生林のような場所で、木登りやターザンごっこをしたり、水辺のピオトープで泥遊びをしたりと森遊びを満喫しています。昨今では「危ない」と言われ挑戦できない木登りや基地作り、「汚い」と言われ感触を楽しむことができない泥遊び等、かつて当たり前の様に子ども同士で遊んでいた風景がここでは見られます。これもご家庭のご理解の下、園生活で培われた理想的な「年長児の姿」です。

まさに世界の幼児教育において、こうした「**Risky Play**」と言われる「危険な遊び」の価値が見直され、教育効果が示されています。一見危ないとされる遊びも、全て取り除くのではなく、本人が挑戦したいと思えば、自分の力を試しながら、そして自然と対話しながら、危険かどうかの判断を**自らができるようにしていく**…こうしたプロセスを大切にするというものです。もちろんそのためには、子どもの力を信じ、見極める大人の力も試されます。

全国の学校（幼稚園）の事故を調査した、日本スポーツ振興センターの調査報告書によると、幼稚園、保育所の固定遊具の事故は、**幼児の身体能力や危険予測能力の不足などの「主体要因」**が最も多いとされています。「危険だから何でも取り除く」のではなく、「**危険を察知し対応する力**」を身につけていくことが、大きな事故を防ぎ、発達を促す鍵となります。

これからも、恵まれた「ありのままの自然」を子どもの育ちに最大限活かせるよう、私たちもその価値を追求し、見守る目を磨いていきます。引き続き、皆様のご理解をお願い申し上げます。



年中 佐々木隊長と森散策

年中さんは初めての佐々木隊長との森散策。自然の魅力をたっぷり教えていただきました！



年長 七国小学校訪問・交流会

本園の連携校である七国小学校を訪問し、優しい1年生と昔遊びを楽しみました。



年少 ECC

年少さんは初めてのECC。パット先生と園庭でゲームをしながら英語遊びを楽しみました！



うさぎ組 自然と触れあいながら

幼稚園の様々な自然と触れあいながら、ぐんぐん成長しています！

